堀江中学校　校長室だより　　令和8年度 No.28

さくら

令和8年11月16日（月）

初善・中善・終善 ～手を抜かない～

「終わりよければすべてよし」という言葉がありますが、この考え方はいかがなものかと思います。時には、このような考え方をしなければならないこともあるかもしれません。しかし、物事に取り組むときのベストの考え方ではありません。

インドの古い経典や『法華経』の中に「初めよし（初善）、中よし（中善）、終わりよし（終善）」と書かれたものがあり、物事に取り組む姿勢として、最初から最後まで頑張ることの大切さが説かれています。余談になりますが、この「初中終」がなまって「しょっちゅう」という言葉になりました。

その昔、豊臣秀吉の側近であった黒田官兵衛が、秀吉に次のような質問をしたというエピソードがあります。

「秀吉様はどのようにして天下を取り、太閤になることができたのですか」

すると秀吉は次のように答えます。

「足軽のときは足軽の仕事を懸命にした。侍になってからは喜んで侍の仕事をした。関白なったときには、関白としての役割を懸命に果たした。そうしているうちに太閤になれただけで、一度も太閤になろうと思ったことはなかった」と答えたそうです。このようなやりとりが実際にあったかは定かではありませんが、このことは、物事に懸命取り組むことの大切さを教えてくれるものです。

人は、ややもすれば楽な生き方に流されてしまいがちです。しかし、楽をするばかりでは良い結果は生まれません。学校生活・家庭生活を含めて、何事につけても、最初から最後まで手を抜かずに頑張るという習慣をつけましょう。そうすることで、あらゆる夢や希望に自ら近づいていくことができるのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。